

政策提言書

総務産業委員会

商店街の再生について

総務産業委員会では、商店街の再生に向けて、平成27年10月1日2日に香川県高松市丸亀町商店街や琴平町参道商店街の視察を行ない、平成28年1月21日に泉佐野市商業会連合会の役員の方々との意見交換会、またその都度委員会協議会を繰り返し、課題と対策を議論して参りました。

その結果、委員に共通して見えてきた課題が「空き店舗がなぜ空き店舗なのかを誰も知らない」ということです。私たちは、商店街の役員の方々には、空き店舗である理由がわかると考えていましたが、商業会連合会との意見交換会では「私たちは実は聞きにくく理由を知らない。」と空き店舗の調査を逆に要望される結果となりました。

ここに商店街の再生が進まない根本的な原因があると私たちは考えます。商店街再生の課題や対策については様々な成功事例や手段がありますが、まずは調査を行い、「なぜ貸さないのか」「貸しにくい理由は何か」「今後貸す予定はあるのか」といった現状把握が必要です。その調査結果が行政のみでなく、商店街自身の積極的な取り組みにも繋がるものと考えます。また、現状空き店舗でない店舗についても、高齢化や後継者がいない等により近い将来、空き店舗になる店舗も多くあるため、全店舗の調査が必要です。

以上のことを踏まえ、下記のとおり商店街の再生に向けての政策提言を致します。

記

1. 商店街の再生について

- (1) 空き店舗の利用に関する意向等について空き店舗以外も含む商店街の全店舗を調査し、商店街の再生に向けての情報収集を行なうこと
- (2) 調査にあたっては、商店街の方々にも積極的に関わってもらい意識を共有すること

以上

政策提言書

総務産業委員会

犬鳴山温泉郷の活性化について

総務産業委員会では、犬鳴山温泉郷の活性化に向けて、平成27年10月2日に香川県琴平町のこんぴらさんを中心とする温泉郷の視察を行ない、平成28年1月14日に犬鳴山観光振興会の方々との意見交換会、またその都度委員会協議会を繰り返し、課題と対策を議論して参りました。

委員に共通して認識されていることは、大阪府内で唯一の温泉郷である犬鳴山温泉には、まだまだ泉佐野市の魅力を向上させることができる可能性があり、それを活かしきれていないのではないかとということです。

泉佐野市の魅力向上に向けて、犬鳴山温泉の活性化を図るため、下記のとおり政策提言を致します。

記

1. 犬鳴山温泉郷の活性化について
 - (1) 府内唯一の温泉郷である犬鳴山温泉郷の知名度を向上させるため、PRを行なうこと
 - (2) 平成22年23年に市が実施したホテルの調査結果を活かし、ホテルの保全・増殖に取り組むこと
 - (3) 駐車場及び道の駅の設置に関する検討を行なうこと
 - (4) 道路の安全性を確保するため、道路整備について大阪府と協議すること

以上